

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	生活習慣病対策推進費(健やか生活習慣国民運動推進事業費)		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	がん対策・健康増進課		がん対策・健康増進課長 木村博承		
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-7 健康づくりを推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「国民の健康の増進の総合的な推進を図る基本的な方針」(厚生労働省告示第195号) 「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)の推進について」(平成12年3月31日付厚生省発健医第115号事務次官通知)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「適度な運動」「適切な食生活」「禁煙」に焦点を絞った「すこやか生活習慣国民運動」を重点的に展開することにより、人々が日常生活の中で「すこやかな生活習慣」の爽快感を実感し自ら行動変容を行うことにより、生活習慣病を予防することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	すこやか生活習慣国民運動を社会全体に広めるため、産業界との連携を視野に入れた効果的な戦略に基づく運動を展開する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	90	51	71	92	92	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	90	51	71	92	92		
	執行額	90	51	71				
執行率(%)	100	100	100					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(23年度)
	企業の参画数			社	-	135	420	250
			達成度	%	-	54%	168%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	普及啓発のための企業の取組事例。				-	-	18	-
単位当たりコスト	-		算出根拠	当該事業は、民間企業の参画を得て、国民の行動変容を促すものであるため、単位当たりコストの算出は困難である。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	事業費	92	92					
	計	92	92					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	健康に対する意識が国民の間で高まってきており、国民のニーズ、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	民間企業が活動を進めていくためのベースを提供しているものであり、委ねられない部分を担っている。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	企画内容により事業のもたらす効果に影響が出るため、企画競争を行い業者の選定を行った。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	合理的なものとなっている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	普及啓発を実施していく中で、真に必要な費目・使途となっている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	様々な媒体を通しての普及啓発を実施しており、参画企業数が目標を上回る登録数となるなど、実効性の高い手段となっている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	参画企業数が目標を上回る登録数となるなど、着実な進展が見られる。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	全国でのイベントの実施など見込みに見合ったものである。
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成24年度予算においては、参画企業数も目標企業数を上回っていることなど実効性も高いものとなっていることから、さらに産業界との連携を進めていき、社会全体に運動を浸透させるため、20,571千円の増額を図ったところである。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業の必要性、執行の観点からの評価としては概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	－		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	312	平成23年行政事業レビュー	283

厚生労働省
71百万円

[業務委託内容の企画、業務実施における指導]



【企画競争・委託】
A. 株式会社博報堂
71百万円

[スマートライフプロジェクトの推進戦略の策定及び業務実施]



【随意契約・委託】
B. 民間企業(2) 17百万円

[ホームページ制作・運用、事務局運営(管理・監修は博報堂にて実施)]

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.博報堂			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	(株)博報堂 パンフレット、ポスター制作	6			
制作費	(株)博報堂 SLPフェア実施	21			
新聞掲載費	(株)博報堂 日本経済新聞広告(全国・15段)掲載	6			
管理費	(株)博報堂 調査、ロゴ管理等	6			
出演費	(株)博報堂 長谷川理恵出演契約	13			
調査費・広報費	(株)博報堂 調査、記者発表会、リリース配布	2			
委託費	(株)シーズ、(株)電算 システム構築、運用、サーバ等	17			
計		71	計		0
B.(株)シーズ			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
システム経費	(株)シーズ システム構築、運用、サーバ等	11			
計		11	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)博報堂	企画、規約制作、デザイン、コピー、撮影、記者発表会、リリース配布、SLPフェア実施、調査、運動の総合管理等	71	5	100

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)シーズ	WEB(パソコン、携帯電話)にホームページを運営する業務	11	随意契約	
2	(株)電算	電話/メールへの問い合わせ対応(問い合わせ内容/対応については集約したものを博報堂に報告、電算のみでの判断は行わなかった)および運動参加申請書の不備チェック	6	随意契約	